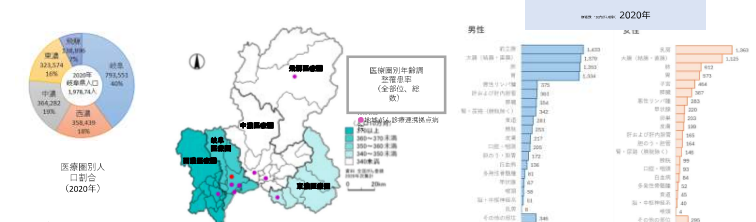


一 岐阜県における医療機関を対象とした 全国がん登録実務者勉強会の取組について

岐阜大学医学部附属病院 全国がん登録室
横縄五月 牧山明資 小平良子 原田茉莉英 杉山由花

■岐阜県のがんの概要

岐阜県は本州の中央に位置し、2020年の人口は約198万人で、岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨の5つの医療圏がある。圏域別の人口割合は、岐阜医療圏が40%で最も高く、西濃、中濃、東濃が続く。飛騨医療圏は7%である。2020年の年齢調整罹患率（全部位、総数）は西濃医療圏が高く、岐阜、東濃の順となった。上皮内がんを除いた罹患数は、男性8,799件、女性6,616件で、男性は前立腺、大腸、肺、女性は乳房、大腸、肺の順が多い。



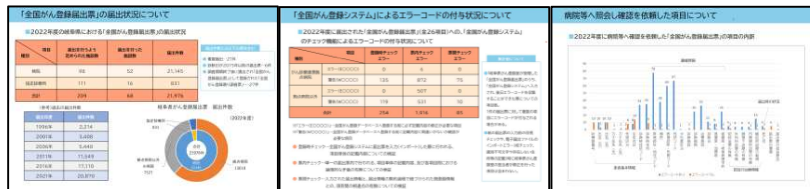
■目的

岐阜県では、全国がん登録届出マニュアルに沿った届出及びがん登録室での安全管理措置の周知を目的に勉強会を開催している。問合せ作業の減少、届出内容の精度維持にむかえ、2023年度の勉強会は、前年の届出票のエラーの発生状況等を確認し、エラーが多い項目を中心に説明を行った。

■方法

2022年度に修正対象となった届出票について、「全国がん登録システム」によるエラーコードの付与状況及び病院等へ照会・確認依頼をした項目を集計しグラフ化した。病院等へ照会・確認依頼をした項目は、患者基本情報156件、腫瘍情報356件、治療情報36件、届出状況7件、その他6件の561件であった。その結果を参考として、勉強会の内容を決定し資料を作成した。

●2022年度 岐阜県全国がん登録 届出の状況（抜粋）

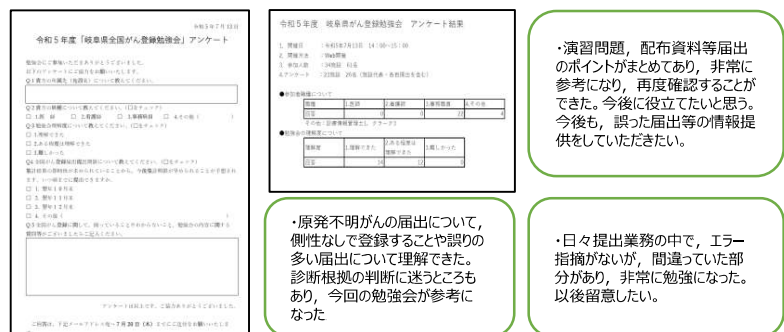


●2023年度 岐阜県全国がん登録勉強会 資料（抜粋）



■結果

参加施設及び人数は、34施設61名であった。アンケート提出施設及び人数は、23施設26名であり、内容については、理解度は「1. 理解できた」と「2. ある程度は理解できた」を併せて、100%であり、間違った登録をしていたことに気づけたといった意見があった。資料の説明において、具体的な例を示し、実際に演習問題を行ったことが、理解につながったと考えられる。



■まとめ

疑義照会を数値化することで、説明すべきポイントの根拠が明確化できた。実務者の経験、理解度などで届出票の正確性に開きがあるが、個々の実務者の状況を把握することは困難である。今回の取組により、参加者の理解も深まったと考えられる。こうした勉強会を継続していくことで届出票の記載内容の正確性が向上すれば、都道府県がん登録室実務者の作業負担の軽減にもつながると考えられる。

日本がん登録協議会 第33回学術集会
CD発表
講演番号：0005
発表時間：09:00～09:15